

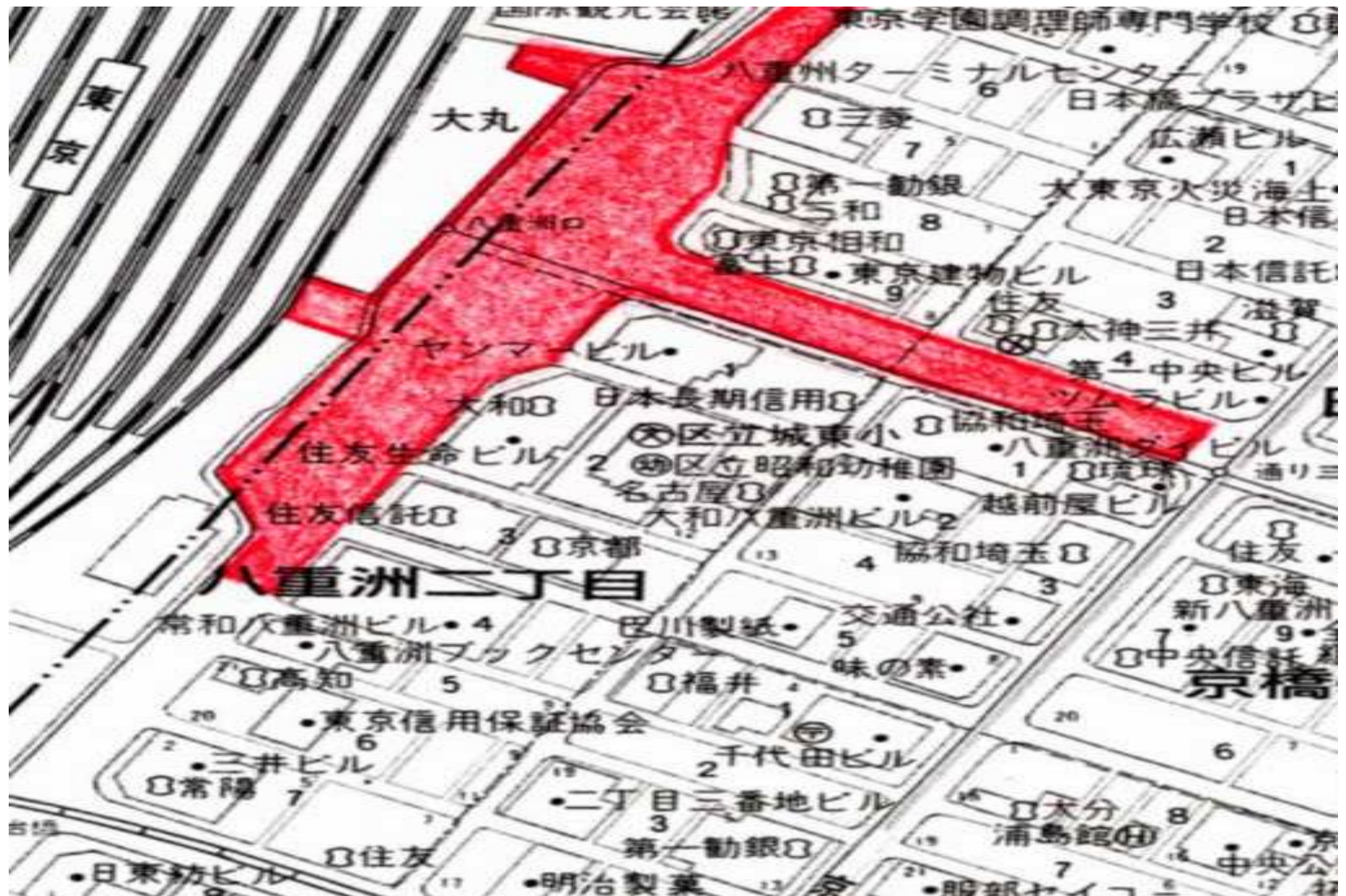
# 地下街における 地上波デジタル放送の受信

平成17年7月

八重洲地下街(株)

# 八重洲地下街の概要

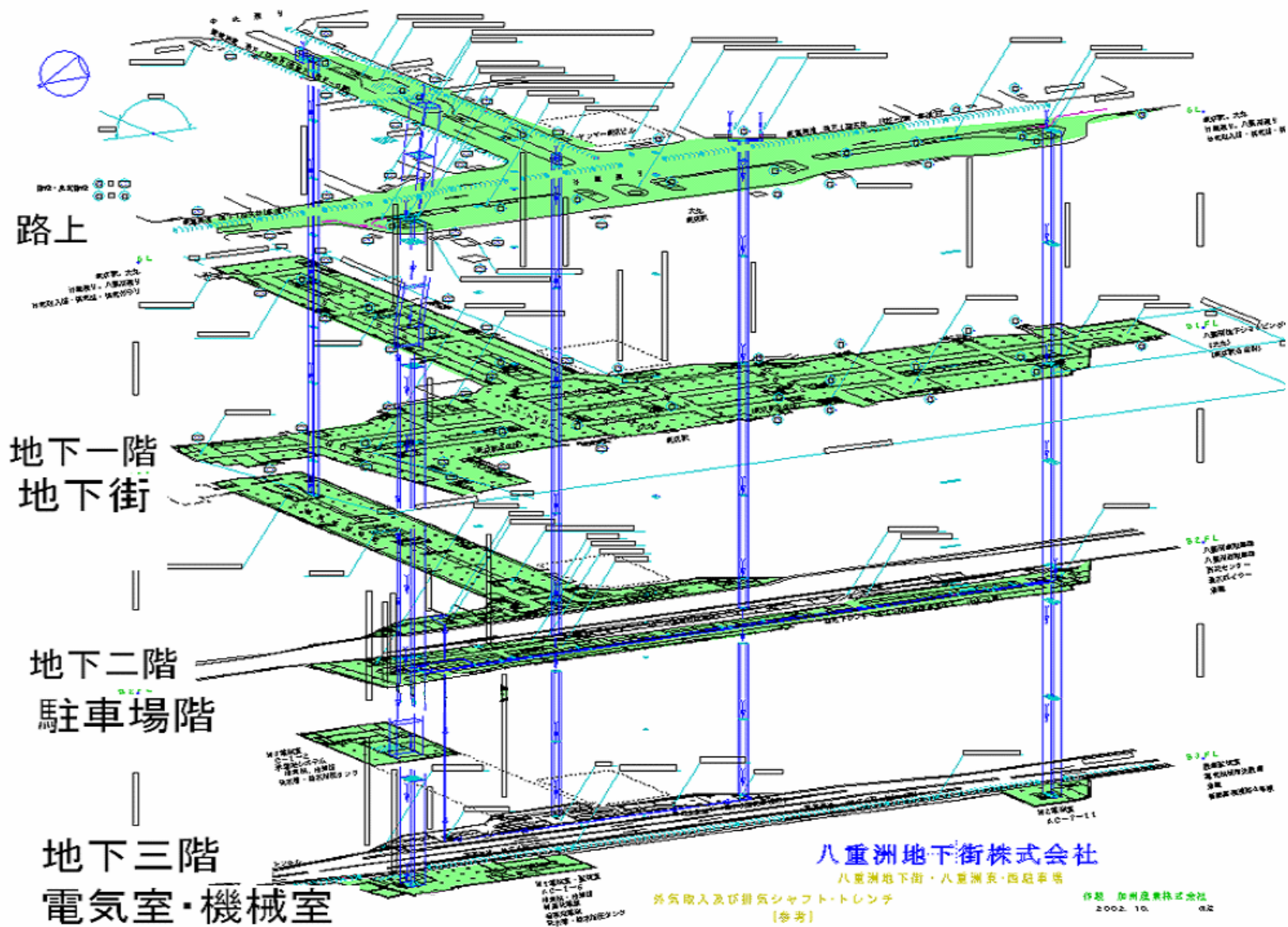
- 延べ面積 64,334m<sup>2</sup>
  - 店舗面積13,787m<sup>2</sup>
  - 店舗数約190店舗
  - 地下街来客者平日1日平均15万人
- 駐車場 516台
- 首都高速の出入口4箇所



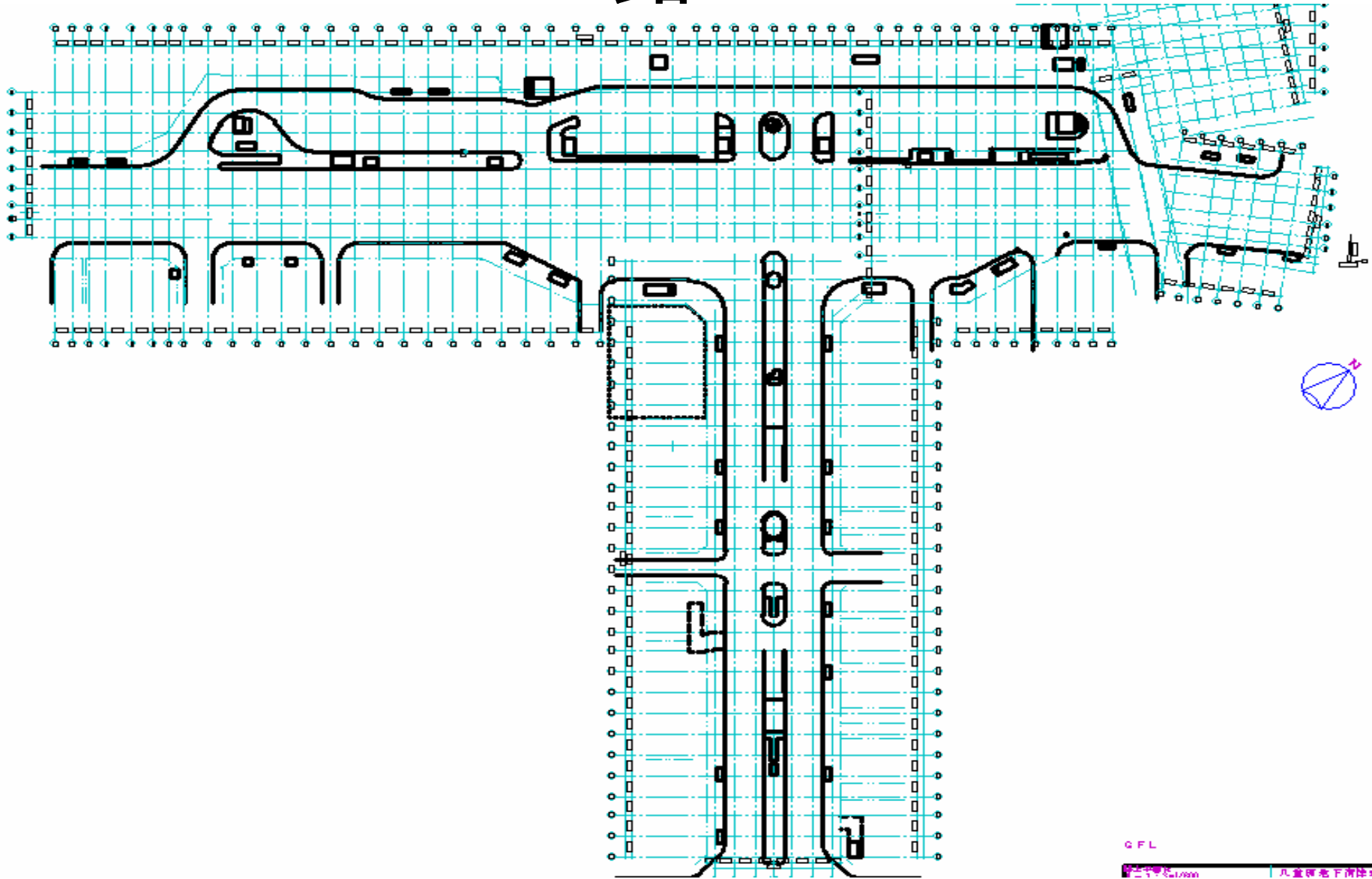
# Amenity Metropolis

人とクルマがリラックスする街。八重洲地下街





# 路上



G.F.L.

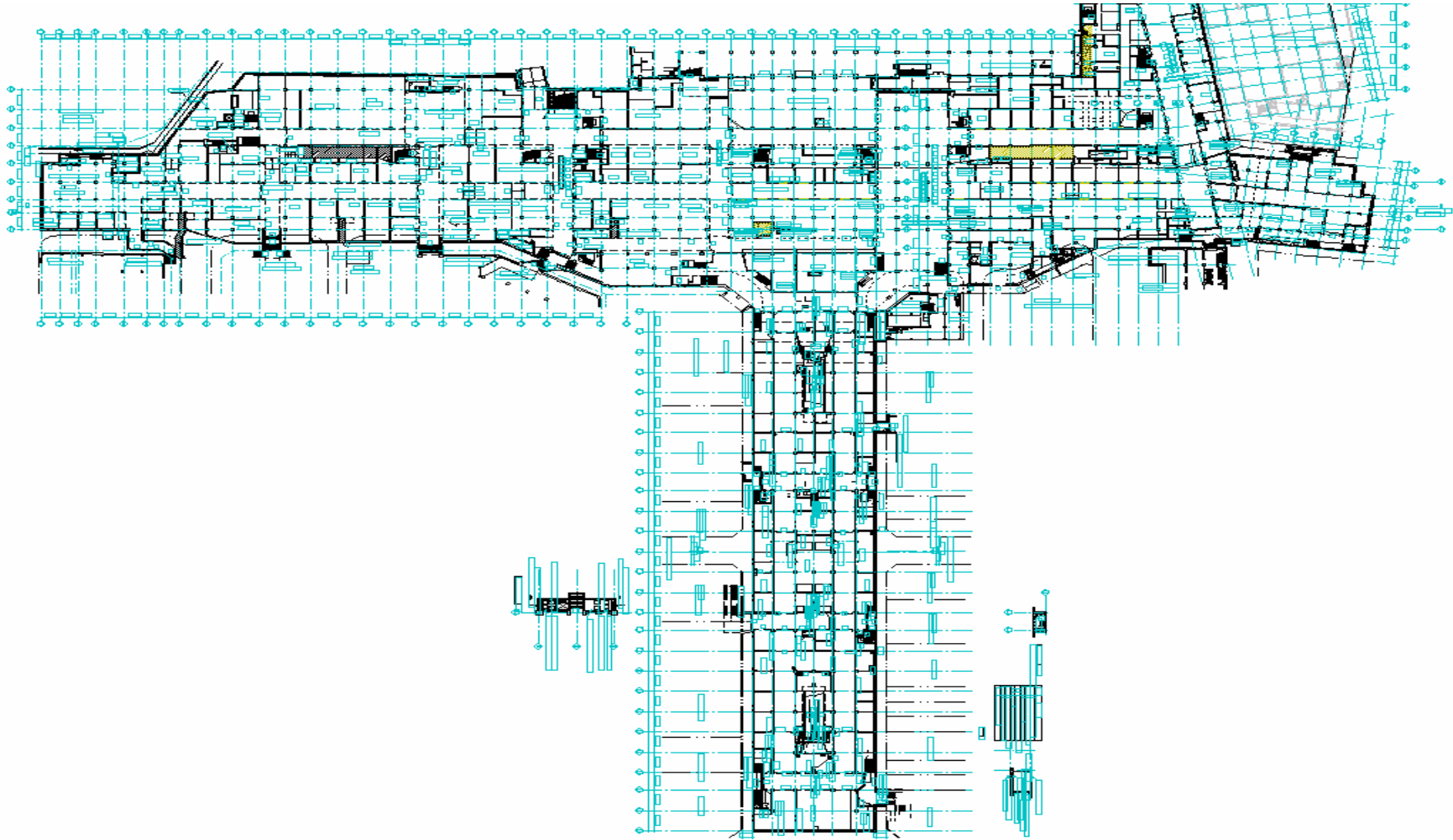
地下停車場

八重輝地下降降式会社

# 路上



# 地下一階

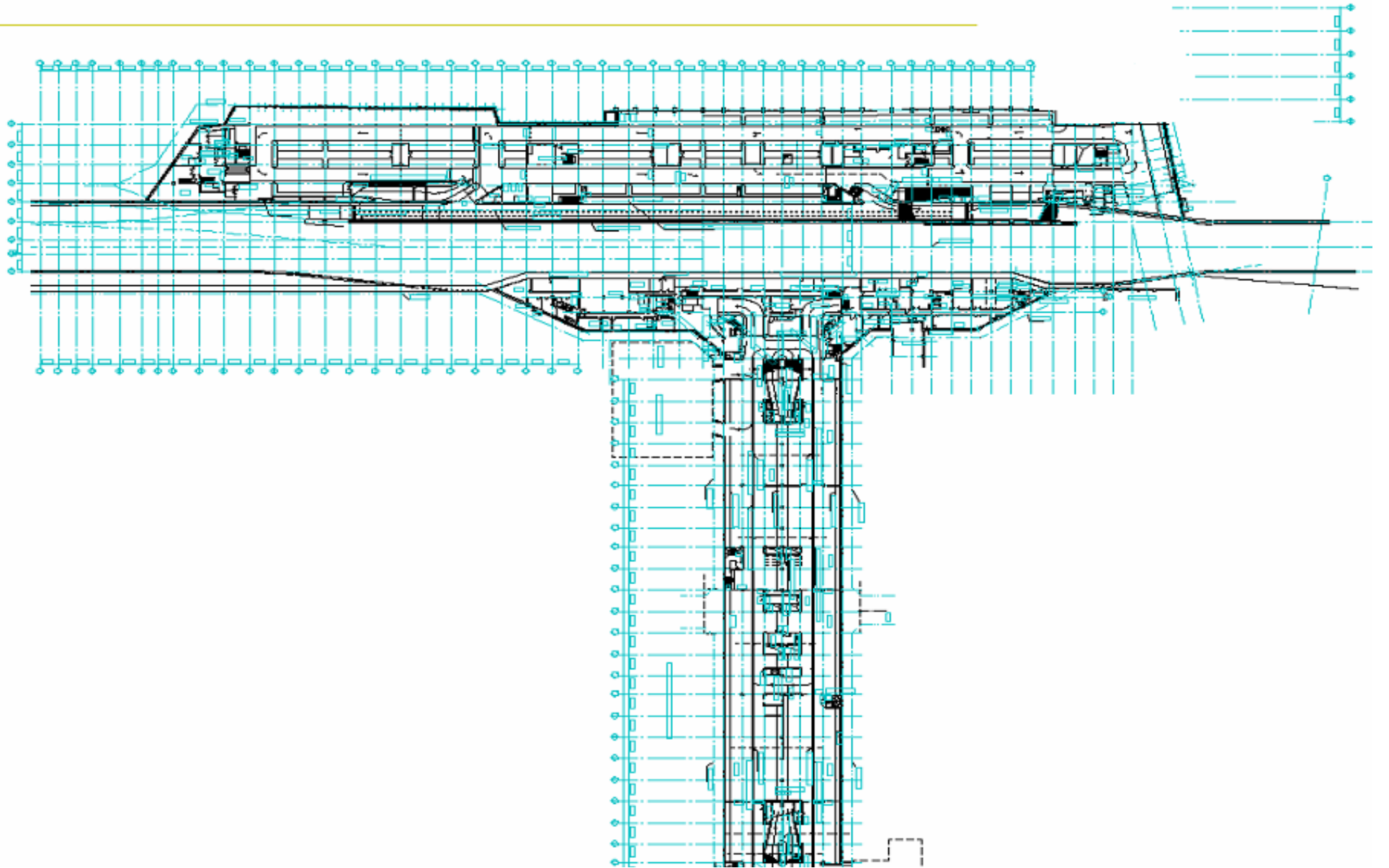




# 地下街



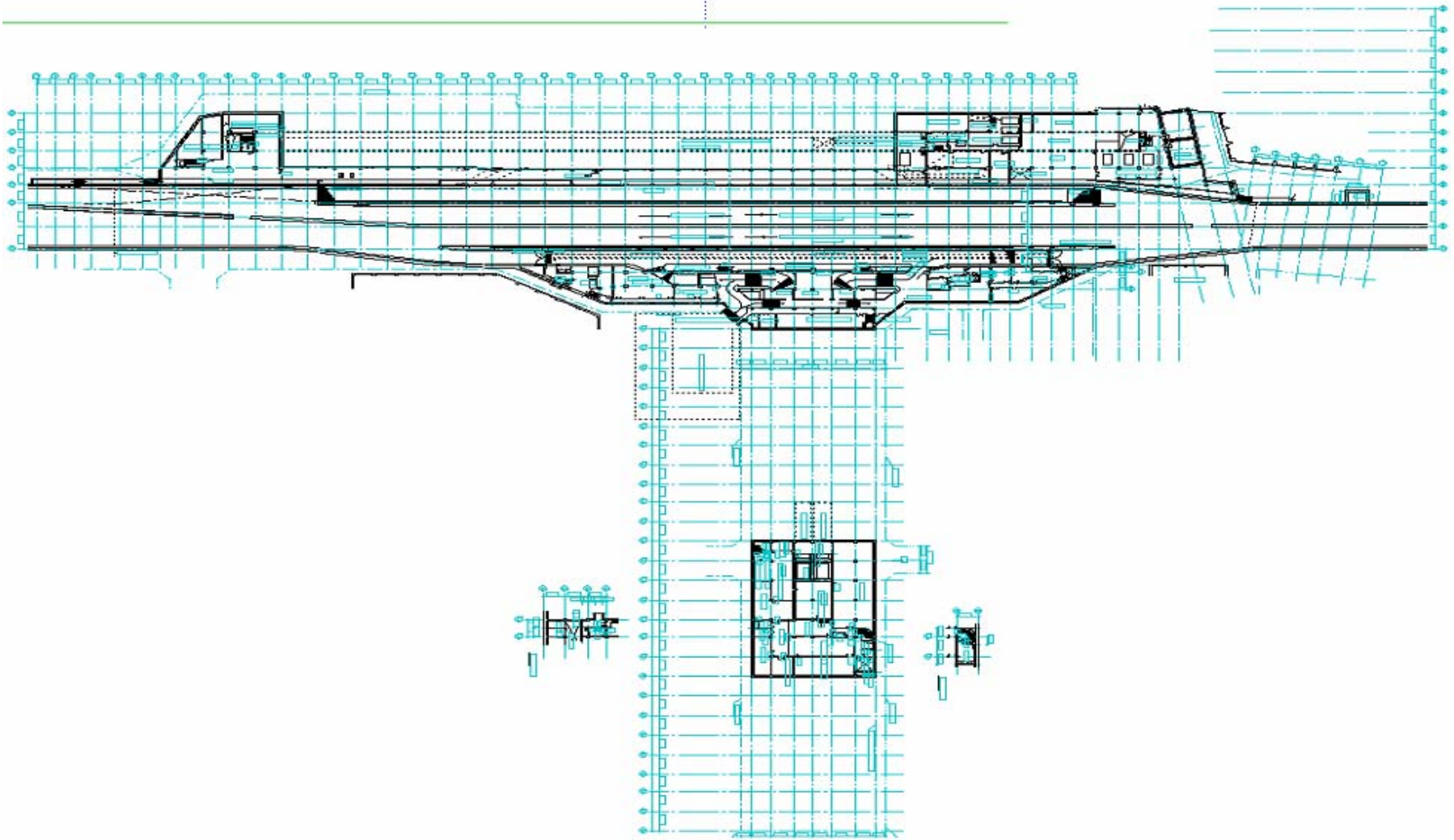
# 地下二階



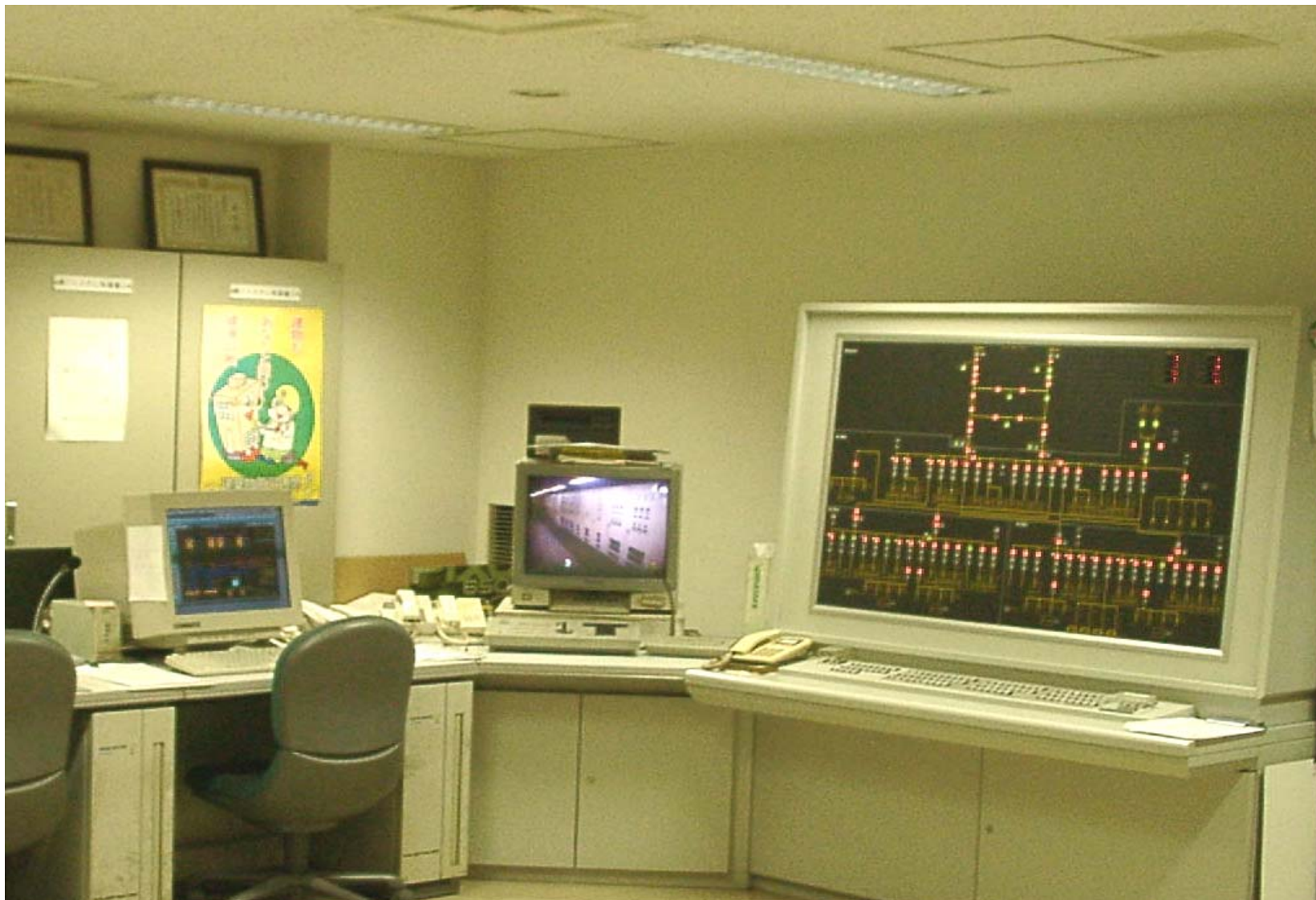
# 駐車場



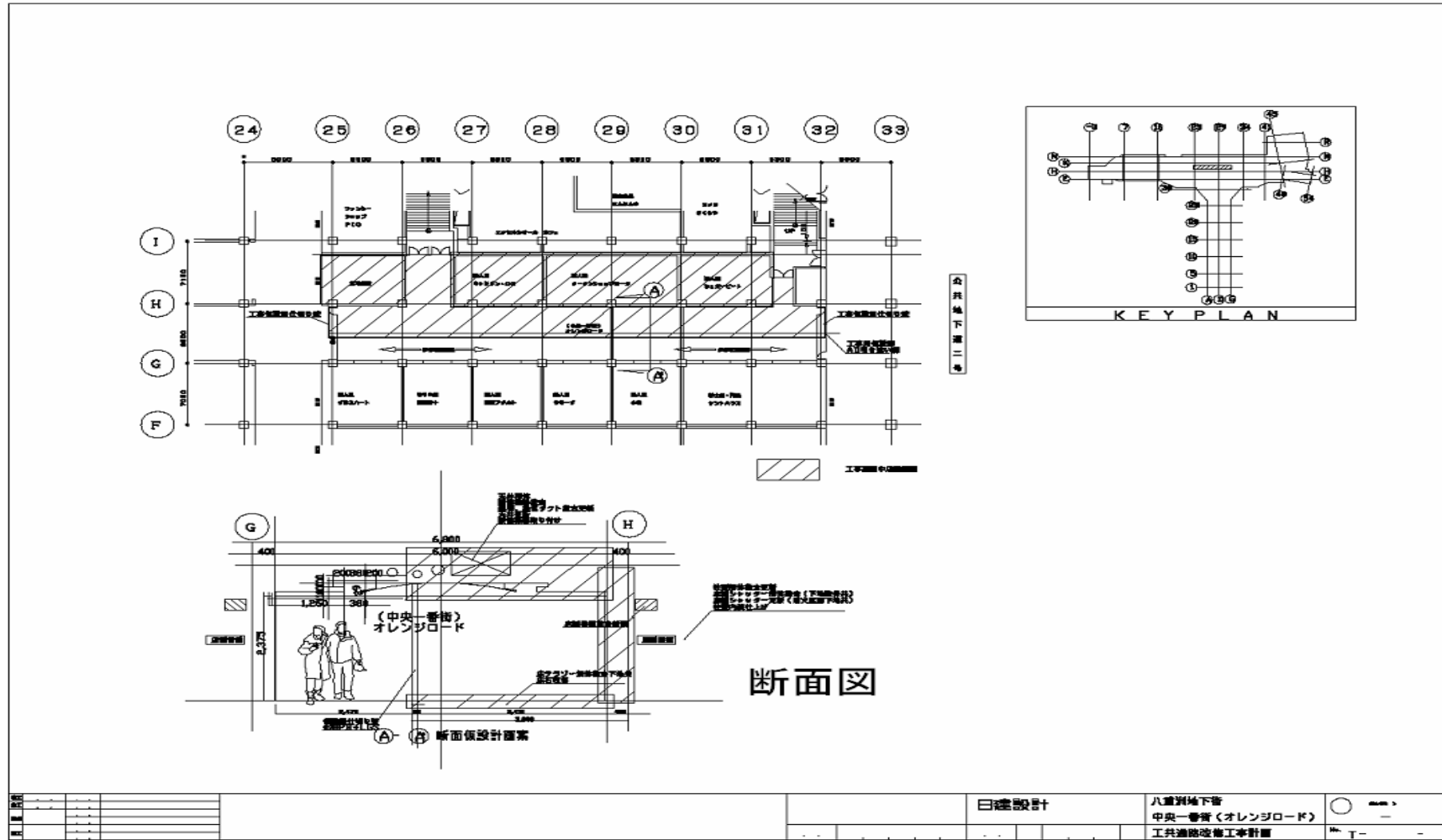
# 地下二階



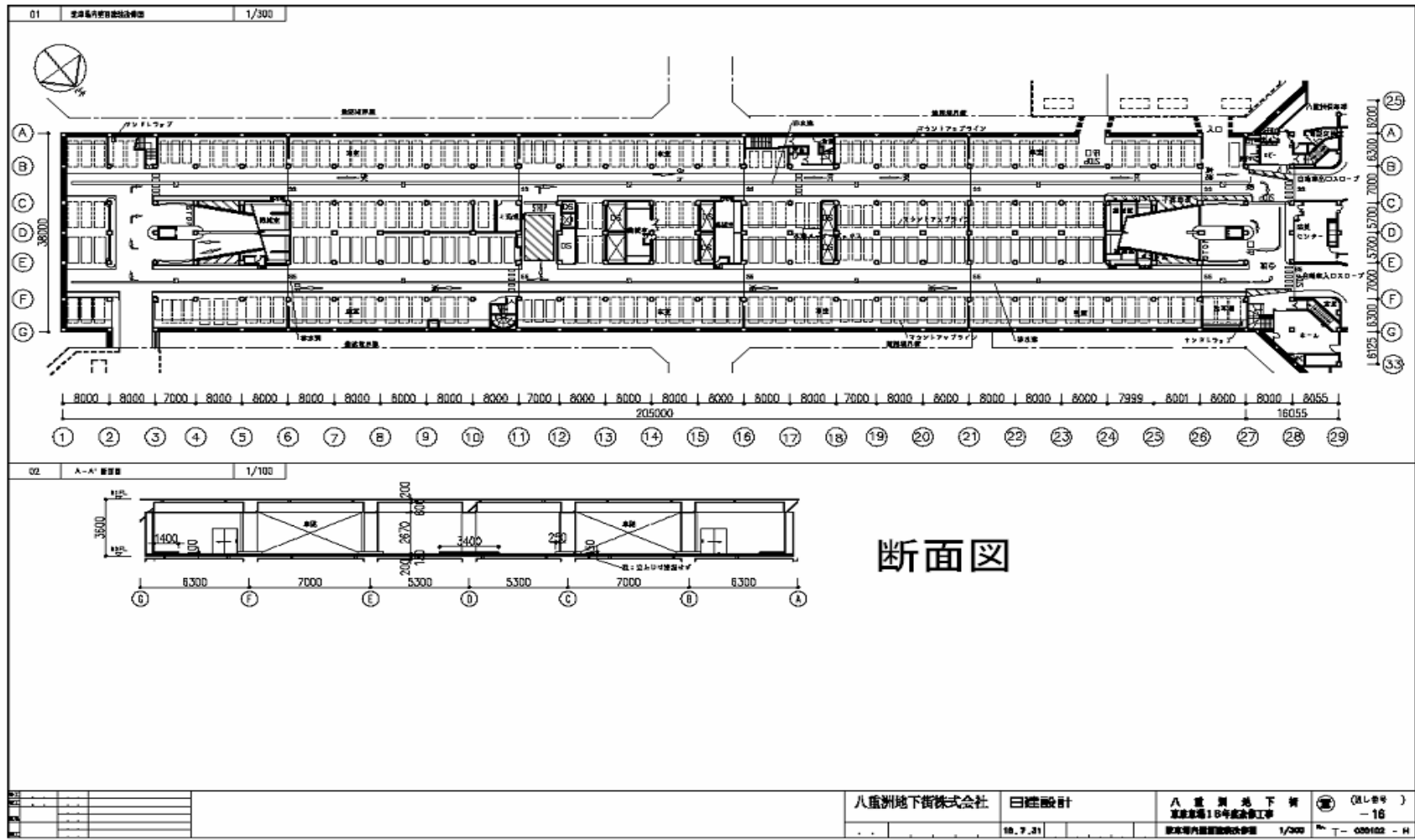
# 中央監視裝置



# 地下一階(地下街)詳細図



# 地下二階(駐車場階)詳細図



# 八重洲地下街に設置してある 主な通信設備

- 無線通信補助設備(漏洩ケーブル) (1977年供用開始)  
(消防無線・警察無線設備用と共用)
- 駐車場携帯電話用漏洩ケーブル (1991年供用開始)  
(無線局免許人NTTドコモ)
- AMラジオ再放送装置 (誘導線方式・LCXに誘導結合)  
(1994年供用開始)
- 道路トンネル情報通信基盤整備協会用アンテナ敷設  
(無線局免許人同協会の各社) (1996年供用開始)
- 駐車場携帯電話用アンテナ(FOMA用)「光ケーブル」  
(無線局免許人NTTドコモ) (2005年供用開始)



再放送方式	工事の特徴
既設無線通信補助設備(LCX)の有効活用	既設設備利用のため比較的工事範囲が狭い 工事費が抑えられる
アンテナ新設	アンテナ敷設範囲が広範囲。 昼は営業しているため夜間工事となる。 天井裏の構造、設備の状況により天井を落とす必要が生じる。

# 工事の制約

- 東京都安全予防条例による天井高の制限  
地下街通路天井高は3M以上。突き出し部分は  
2.5M以上制限

(現状より天井高を下げられません。)

1. 昼は営業しているため、工事は原則夜間工事となる。  
営業するため、天井解体部の仮復旧が必要
2. 再放送装置を設置するスペースに限りがある

防火区画の貫通処理が必要

1. 公共通路に46台、駐車場に39台の防火シャッター  
が取り付けられてありその部分の配線通過箇所は区画  
貫通処理が必要。

# 地下街の美観

- 安全、快適、便利、とともに美観を損わない各局の地上デジタル放送受信アンテナを集約した装置であること。

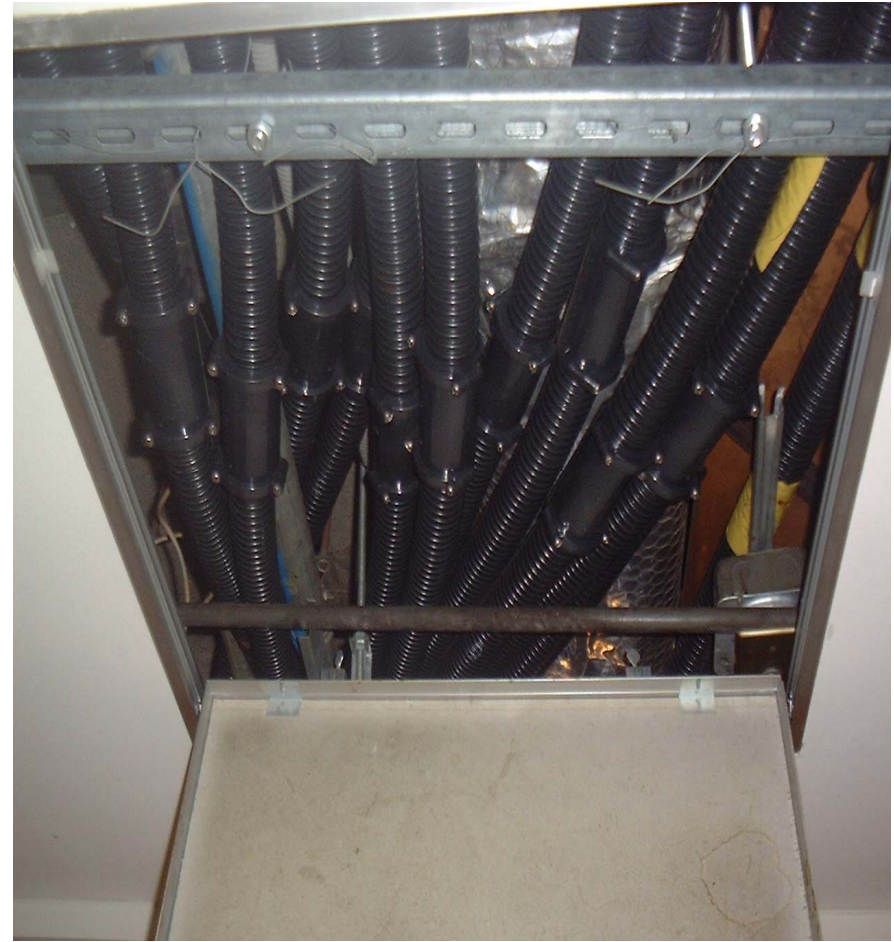
# 地下街リニューアル工事

同工事時は、

1. 広範囲の天井を落とす。
2. 天井内設備の工事を行なう
3. 店舗への工事の事前説明をしている。
4. 一定期間店舗が休業する。

従って、アンテナ工事を地下街リニューアル工事に合わせて行なうのが比較的容易に出来る

# 地下街天井裏の状況



# 駐車場配線と防火区画処理



# 駐車場各配線



地下街の情報化社会、ユビキタス  
社会の実現に向けてご協力をよろし  
くお願いいたします。